

敬虔な信仰①神様を畏れる

ルカの福音書12章1-9節
2012,8,19 HKJCF

I 概観

序) 群衆・パリサイ人・律法学者→弟子

- 1、神を侮る: 偽善と信仰の法則 2-4
- 2、神を畏れる: 旧約 5-7
- 3、神を畏れる: 新約 8-9
- 4、神を畏れる: 最大の祝福・愛の生活
(適用) あなたの神はどんなお方ですか?
神様を畏れることをどのように表現しますか?
(Iヨハネ4:18-19: 恐れ→愛→畏れ)

II 神様を侮る: 偽善と信仰の法則

- 1、パリサイ人のパン種: 偽善と防衛
- 2、覆われているものは外に現れる
- 3、人は恐れと不安から行動しやすい
⇒①恐れと防衛が人間の行動を支配する
- ②神様の前で防衛(かばい)は通用しない
- ③大切なことは教会が偽善と形式から真実と愛に満ちた霊的フニキを作り、恐れと不安から解放される事

III 神様を畏れる: 旧約

- 1、創造主を認め、神様と人間を区別する
- 2、神様の愛と祝福の契約を受け入れる
- 3、契約の内容である神様への信仰(偶像→真の礼拝)と隣人愛(与える愛)へ
⇒①以上が旧約時代の神を畏れること②それを思い起こさせたのはアブラハム・モーセ・ダビデの契約の愛に立ち帰らせる預言者の役割③旧約の最終的預言はキリストによる罪びとの救い

IV 神様を畏れる: 新約

- 1、神様のみ言を守れない罪を認める
- 2、神様の愛とみ子イエス・キリストの十字架の身代わりの赦しを信じ受け入れる
- 3、神様のみ子イエス・キリストを主と告白し、聖霊に導かれイエス様に献身する
⇒①以上が新約時代に神を畏れること
- ②具体的: 1)聖霊に満たされた礼拝2)み言の個人的適用3)人生での実践(祈り・交わり・証の生活)③弟子の主との愛の生活

V 神を畏れる: 最大の祝福

- 1、クリスチャンのID
- 2、礼拝と愛の生活
- 3、み国の価値観
- 4、父の心を持つ
- 5、永遠との関係で人生を完成
⇒①以上は理想的な人間の成長の姿②イエス様と弟子の生き方③中心は真の礼拝(ローマ12:1-3: 神への全人格・全生活的な畏れ)